

廃棄PET使用した 高耐久舗装を施工

NIPPO、車庫
新築工事で実施

NIPPOは住友ゴム工業の岡山タイヤテストコース内にある試験車両用車庫新築工事で、改質剤の一部に廃棄PETを使用する環境配慮型舗装「リペットペーパー」を施工した。舗装面積は1100平方メートル。舗装の厚さは5センチ。容量500リットルのペットボトル約1万5700本分を再利用した換算になる。

リペットペーパーは廃棄PETに化学処理したポリエステル樹脂を使い加熱アスファルト混合物に添加することで、一般的なアスファルト舗装よりも耐久性を大幅に向上できる。

対象工事では大型車両の乗り入れを考慮し、耐久性

施工箇所の全体概要写真
(NIPPO提供)



に優れた舗装が求められた。半たわみ性舗装は高耐久だが、セメントミルク注入作業と養生に時間がかかり、これらの作業が不要なリペットペーパーを使い工期短縮を図った。住友ゴム工業が「サステナビリティ長期方針」に掲げる環境への配慮にも貢献できるようリペットペーパーを提案した。



NIPPO中国支店は、住友ゴム工業発注の岡山タイヤ車両用車庫新築工事で、廃棄

NIPPO中国 廃PETで舗装 高耐久アス、環境にも配慮

PETをリサイクルした舗装「リペットペーパー」を施工した写真。耐久性と環境面を配慮した舗装で、舗装面積1100平方メートル、厚さ5センチの工事において、500ミリのペットボトル約1万5700本分をリサイクルした換算となったが、セメントミルク注入作

る。リペットペーパーは、廃棄PETを化学処理したポリエチレン樹脂を加熱アスファルト混合物に添加することで、一般的なアスファルト舗装よりも耐久性を大幅に向上させた高耐久アスファルト舗装。さらに、廃棄PETをリサイクルできる環境配慮型のアスファルト舗装となっている。

当初、大型車輛の乗り入れを考慮し、耐久性に優れた半たわみ性舗装の適用を検討したが、セメントミルク注入作

業と養生時間が必要となるため、それらが不要となるリペットペーパーを施工することで工期の短縮を図った。

また、発注者は「サステナビリティ長期方針」を制定し、社会問題解決に貢献するための目標テーマを定めており、目標テーマのうち「環境」に貢献できる工法としてリペットペーパーを提案、施工した。

一般的なアスファルト舗装と同等の仕上がり面、耐久性を確保するとともに、環境にも配慮した舗装のため、発注者から好評を得た。